

くれよんクラブ（児童発達支援）評価表（事業所用）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%	課題によって部屋を分けるなど工夫を行っています。	
	②	職員の配置数は適切である	67%	33%		お子さんの様子で配置を変更するなど臨機応変な対応を続けて参ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	83%	17%	理解に合わせ、目で見てわかる表示など取り組んでいます。	引き続き、様々な視点で配慮していくようにご意見を伺いながら行っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	83%	17%	安心して素足で過ごすことのできるように清掃しています。	今後も子どもの様子を感じながら工夫を重ね維持して参ります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%		日常的に情報交換を行っています。	引き続き、取り組んで参ります。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	17%	意見箱の設置を行っています	利用保護者にアンケートを実施し、ご意見をプログラムなどの変更や改善に生かしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			今後もホームページ等で周知していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	17%		今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		引き続き、積極的に参加をしています	今後も職場内研修を定期的にも実施し職員全体での学びを続けて参ります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%		「保護者支援」という表現を用いて「家族支援」「地域支援」をとらえ支援内容を設定しています	今後、支援内容をより具体的に表現し実施していくよう努めていきます
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	83%	17%		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		年間のプログラムを作成し活用しています。	様々な発想から展開できるように情報収集を行っていきます
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	83%	17%		

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	67%	33%	支援開始前にミーティングを行い確認している。1日の動きをノートに残し確認できるようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	毎日実施しています。より効率のかつ有効的な方法をさらに検討していきます。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		関係機関との情報交換時等に活用しています。	より具体的な表現や記録の取り方などを今後も検討していきます
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%			
関係機関や保護者との連携関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会にそのこどもの状況に精通した最もふさわしい者参画しているか	100%			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		定期的に会議を実施。また、日常的に情報交換をしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解	100%			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		研修に積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		100%		新たな形での取り組みを検討して参ります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	83%	17%		委員会には積極的に参加を引き続きしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	83%	17%	送迎時や連絡ノートを活用して行っています。	引き続き、連絡ノートを活用し、様々な方法も検討していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	83%	17%	4、5歳児の保護者を対象としたペアレント・トレーニングを実施しています。	今年度も少人数での研修を実施することができました。来年度に向けてより多くの方に参加していただけるよう取り組んでまいります。
保	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%	17%	利用契約時に実施しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%			引き続き、取り組んでいきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		職員全体が心掛けて実施しています。	定期的な面談等、早めに日程をお伝えしながら取り組んでいきます。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		100%	皆様からのご意見を頂き機会を設けていく。	アンケート等で今後の取り組みについてのご意見を頂き、検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	83%	17%	日頃から関係機関と連携を図り対応しています。	引き続き、努めて参ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		毎月「くれよんだより」を発行しています。	内容も含め、充実した内容を検討して参ります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%		必要に応じて個別的に確認をしています。	引き続き、努めて参ります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			引き続き、努めて参ります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	83%	17%		法人での取り組みも含め、検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%			引き続き、ホームページやお知らせ等で周知するとともに、定期的な訓練に取り組んでいきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		毎月実施しています。	施設や様々な状況に応じた訓練していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこと物の状況を確認している	100%		面接時やアセスメント票にも記入し、確認しています。	引き続き、全職員に周知し、取り組んでいきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		保護者を通じて確認しています。	職員研修を強化して専門的な知識を高めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		事例に基づき、会議等で対応策等検討しています。	日々実践できる工夫をしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		研修への参加や実施をしています。	法人でも事業所でも取り組んで参ります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	83%	17%		法人全体で指針も作成し実施しています。今後も研修会を含め学んで参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

くれよんクラブ評価表（児童発達支援・利用保護者用）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	75%	19%		6%	どのくらいのスペースなら充分かの範囲がわからない。充分だと思います。	課題の内容や人数によって各部屋を利用しながら、適したスペースを確保していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	88%	6%		6%	適切さがわからない。充分だと思います。	丁寧な支援を提供できる配置が日々実施できるよう努めて参ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	81%	6%		13%		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				清潔な環境となっていると思う。	今後も、感染予防対策や安全感に努めつつ、清潔で心地良い空間づくりを行って参ります。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	94%	6%				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	94%			6%		・様々な視点、専門性を活かした支援を引き続き、ご家族とご相談しながら実施していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	94%			6%		・今後も努めて参ります。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	81%	6%		13%		研修等も行い、新たなプログラムも検討していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や活動する機会があるか	56%	13%		31%		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94%	6%				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%					引き続き努めて参ります。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	75%	19%		6%	参加させてもらった時にすこし参考になりました。また、参加したいです。参加して専門の先生の話聞いて勉強になりました。平日の開催の為参加できない。	年中長児の保護者対象で実施しています。引き続きペアレント・トレーニングを実施していきます。また、過去には休日の開催していたので、検討していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	94%	6%			送迎を頼んでいるが、担当の先生が毎回細かく様子を教えてくれて助かります。	引き続き、連絡のノートなどを活用し、続けていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	6%			支援計画の際、助言を頂いています。	引き続き、定期的な面談等を通じてお話をさせて頂きたいと思っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25%	37%	13%	25%	親同士の交流があると良いと思います。	アンケートなどを通じ、皆様のご意見を頂きながら、検討していきたいと思っています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	81%	13%		6%	相談しやすい対応をして頂いており、満足しております。	今後も迅速かつ日常的に取り組んでいきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88%	6%		6%	連絡帳でその日の活動を把握し、子どもと情報を共有化できています。	引き続き努めていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	75%	13%		13%		引き続きホームページ等で発信していきます。

	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	94%			6%		引き続き努めていきます。
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	69%	6%		25%		現状に合わせたマニュアルやBCPを作成しています、周知に努めて参ります。
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	63%			37%	自宅でも復習してくれました。	引き続き、様々な状況を想定した訓練を実施していきます。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	94%		6%		行けば楽しいみだったが、行くまで不眠でいる。毎回楽しんで、作ったものを見せてくれます。家に帰ってくる時「くれよんさんであったこと」の話を毎回楽しそうにしてくれます。毎週楽しみに通所しております。	一人ひとりのお子さんの思いに寄り添いながら、楽しく過ごせるよう、努めてまいります。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	88%	6%		6%	本人がおっくうのよう。何をもち満足としていいかわからない。夫婦ともに満足しています。	それぞれのお子さんに合った支援に取り組んでいきます。今後とも意見をいただきながら、より良い支援の提供に努めてまいります。